

授業概要

幼保小連携を視野に入れ、児童の発達段階に合わせた「生活科の学び」を実践できる指導力を身に付けるために、学習指導要領「生活」を読み込み「単元づくり」「教材研究」を中心に講義する。また学生の主体的な学習を推進し、教育に関する専門知識と技能を備えた教員養成をめざし、学習指導案作成や模擬授業を取り入れて実践的に学べるように指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（授業の目的と進め方について知る）
第 2 回	生活科の学習内容の階層性
第 3 回	接続期の教育（スタートカリキュラム）の考え方
第 4 回	学習内容（1）（2）（3） テキスト分析と解説
第 5 回	学習内容（4）（5）（6）（7） テキスト分析と解説
第 6 回	学習内容（8）（9） テキスト分析と解説
第 7 回	地域を生かした単元構成
第 8 回	生活科の学び①（気づきの質を高める学習過程）
第 9 回	生活科の学び②（思考・表現を引き出す学習過程）
第 10 回	単元づくりと年間指導計画
第 11 回	学習指導案の作成①（単元の決定⇒教材研究⇒提出）
第 12 回	学習指導案の作成①（指導案検討⇒再提出）
第 13 回	模擬授業①（模擬授業実施）
第 14 回	模擬授業②（授業分析）
第 15 回	講座のまとめと課題レポート
第 16 回	学期末試験（筆記試験）

到達目標

- ・「生活科」における子どもの学びと教師の指導・支援のあり方について理解する。（知識理解）
- ・生活科の学習内容についての理解を深め、単元構成を考え、学習指導案を作成し模擬授業ができる。（技能）
- ・授業分析を通して、気づきの質を高める手立てや表現活動、教師の支援の在り方などを考察できる。（思考）

履修上の注意

- ・予習・復習をしっかりと行い、授業内容を活用した学習指導案の作成や模擬授業に臨むこと。
- ・欠席した場合は、その日の授業内容や課題の把握に努めること。

予習・復習

- ・シラバスを確認する以外にも、授業で次回の講義についての予告をするので、事前に必ずテキストをよく読み、講義内容が理解できるようにしておくこと。
- ・復習として授業でとったノートを整理し、自分の言葉で学んだことをまとめておくこと。
- ・予習、復習共に必ず毎回 30 分以上の時間をかけること。（質問等あれば次回の授業で対応します）

評価方法

- ・受講態度や授業の振り返りコメント 20%
- ・学期末試験 60%
- ・課題レポート 20%

テキスト

- ・教科書名：小学校学習指導要領解説（平成 29 年告示） 生活編
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：東洋館出版社